

■大豆の殺虫剤

区分	毒性	系統名	薬 剤 名	希釈倍率	水100ℓあたり 使用薬量	
						種子塗沫
種子塗沫	苗立枯病 茎疫病 ジャガイモヒゲ ナガアブラムシ	—	ネオニコチノイド* フェニルピロール フェニルアマイド*	ク ル ー ザ ー M A X X	乾燥種子1kg あたり原液8mL	種子60kg あたり原液480mL
土壌混和	ダイズシスト センチュウ 播種時	劇	カーバメート	バ イ デ ー ト L 粒 剤	作条:6kg/10a	
					全面:30kg/10a	
茎葉散布	ジャガイモ ヒゲナガ アブラムシ 5月下旬 ~7月中旬	劇	ピレスロイド*	ゲ ッ ト ア ウ ト W D G	3,000倍	33g
		—	フロニカミド*	ウ ラ ラ DF	2,000~4,000倍	25~50g
		劇	ピレスロイド*	バ イ ス ロ イ ド 乳 剤	1,000~2,000倍	50~100ml
	ツメクサガ 7月上旬 ~8月中旬	—	ジアミド*	プレバソンフロアブル5	4,000倍	25ml
		劇	有機リン	エ ル サ ン 乳 剤	1,000~2,000倍	50~100ml
		—	有機リン	オ ル ト ラ ン 水 和 剤	1,000倍	100g
		—	有機リン	ト ク チ オ ン 乳 剤	1,000~1,500倍	66~100ml

使用時期 (収穫前日数)	回数 以内	適用病害虫名									防除上の注意事項	
		タネバエ	アブラムシ類	ツメクサガ	マメシクイガ	ハスモンヨトウ	ハダニ類	ダイズシスト センチュウ	茎疫病	紫斑病		
は種前	1	●	●									・処理は当日もしくは前日に行うこと。
は種前	1	●	●							●	●	
は種前	1									●		
7日前	3		●		●							・害虫発生初期に薬液をムラなく散布する ・カメムシ類に3,000倍で登録あり ・コガネムシ類に3,000倍で登録あり
7日前	2		●									
7日前	3		2,000 ●		●							・カメムシ類に1000倍で登録あり
7日前	2				●	●						・ウコンメイガ、オオタバコガに4,000倍で登録あり
7日前	2		●	1,000 ●	1,000 ●	1,000 ●						・カメムシ類に1000倍、シロイチモジマダラメイガに1,500~2,000倍で登録あり ・ボルドー液・石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤と混用しない
60日前	3		●		●	●						・パワーガイザーとの近接散布は避ける
30日前	3		1,000 ●	1,000 ●	●	1,000 ●		●				・カメムシ類に1000倍で登録あり。 ・やや遅効性であるので、害虫の発生を見たら早めに散布する ・ボルドー液・石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤との混用は可能だが、混合後は速やかに散布する